

Q. 通知表の回数が減ります。通知表に代わる対応などはありませんか？

A. 「ふりかえりカード」や「学習のあゆみ」を活用する予定です。

これまで通知表は春・夏・冬の長期休業日前にもらっていましたが二学期制では10月と3月にもらうこととなります。

先生たちは長期休業日(春休み・夏休み)を利用して評価資料(学習状況や生活の様子)の整理が余裕を持ってできます。

教科の単元テストや作品などの学習に関するもの、子ども自身の自己評価(学習面、生活面)などを資料として準備し、個人面談や訪問(方法、内容、時期など、各学校の行事の都合で異なります)を実施したり、資料を提供したりします。子ども一人一人をしっかりと見つめた確かな評価ができ、秋休み明けの指導の充実につながることができるようになります。評価と指導の連続で学力向上を目指します。

具体的には「ふりかえりカード」や「学習のあゆみ」を活用する予定です。これらは通知表と合わせて見ると効果的です。夏休み前(7月)と冬休み前(12月)にお渡しします。



「ふりかえりカード」 ※作成中です。子どもが自己評価で作成するものです。学校生活の様子などのほか、先生の励ましコメントも書かれています。

「学習のあゆみ」 ※作成中です。小学校低学年では国語・算数で出され、小学校中学年以上では、国語・算数・社会・理科のいわゆる基礎教科で出されます。「ここはできた」「ここは努力が必要」などと書かれています。

Q. 定期テストの回数が減り、テスト範囲が広くなりませんか？

A. 年間の定期テストの回数はこちらまでと同じです。だからテスト範囲も広くなりません。

三学期制の下、小学校では一つの単元が終わったらテストを行い、中学校では各学校で実施時期は異なりますが、定期テストを行っています。これらは二学期制でも同じように行います。

また現在、学習の定着を目指して授業の前に小テスト(基礎テスト)を行っています。二学期制になると、この回数

Q. ほかの市町村への転出入で問題になることはありませんか？

二学期制の導入は学期の区切りと評価時期の変更が主で学習内容に大きな変更はありません。よって長期休業日の異なるほかの市町村の二学期制学校や三学期制学校への転出入でも大きな問題はありせん。

ただし夏休み明けに転入した場合は、続けて通知表をもらうこととなります。

が小中学校ともに増えます。単元ごとのテストや定期テストのほかにも、いろいろな評価資料があることで子どもたち一人一人の確かな評価が可能です。

中学生や保護者の皆さんは高校入試が気掛かりでしょう。二学期制になると、先生たちの時間にゆとりが生まれ、12月に三者面談などが行えます。進路決定のための相談活動を充実させることができ、より確かな進路指導が期待できます。高校入試で不利益が生じることもありません。

しかし多くの視点で評価されるのは良いことではないでしょうか。

年度途中に転出した場合でも、評価に関する資料を提供したり、個人面談などを実施したりすることで、学習や生活面の状況は把握できます。

市長室から

市歌「伸びゆく宇城市」の製作・発表



宇城市長 阿曾 清

1月27日、宇城市合唱祭が開催されました。市に7つのコーラスグループがあります。そのグループの発表会が初めてありました。

素晴らしいコーラスを堪能した後、宇城市歌「伸びゆく宇城市」が合唱されました。松橋中学校吹奏楽団の生徒さんの演奏で、100余名のコーラスにより素晴らしい市歌が奏でられました。

作曲は、作曲家・ピアニストで、テレビドラマの音楽を数多く手掛けたことで知られる岩代太郎先生、作詞は「火の国旅情」でおなじみの岩代浩一先生のお力添えによるものです。私も心から感動し、涙ぐんでしまいました。

会場にいた人が「いい歌ですね。ロマンチックであり、歌いやすく、覚えやすい。CDはないのですか？」と聞かれた時、思わず来年には作りますよと返事をしてしまいました。「公共施設や学校、大会や催し物会場でも必ず市歌を流すことにしましょうね。カラオケでも歌ってください」とお願いしました。

宇城市の花は「コスモス」、木は「桜」、鳥は「ウグイス」と決まり、市民憲章も発表され、今度、市歌もでき、これで宇城市の看板も出来上がりました。まちが真に宇城市となり一体化していくことを期待いたします。(合唱祭の詳細は12ページに掲載しています)

※4月の市長談話室は6日(金)の予定です。参加ご希望の方は、広報統計課 ☎32-11111へ3月20日(火)までにお申し込みください。

市民しほり隊の目

活気あふれる青空市場

古賀結美子

J A熊本うき松橋支所敷地内で、毎週日曜日の午前中だけ開催されている「J A松橋女性部青空市」。農業従事者の女性の活性化を目指してオープンしてから今年で5年目を迎えます。

現在の加入者は約60人で、おのおが生産している野菜、果物、花、加工食品が並べられています。売り場の端には木製テーブルといすの接待コーナーがあり、お茶やコーヒー、漬物、まんじゅうなどおもてなし。常連のお客さんたちが入れ替わり立ち替わりでお茶や漬物を味わいながら世間話をしておられました。



農業女性たちが元気に明るく活動しています

漬物の漬け方や、野菜の料理方法から健康談まで話は弾み、和気あいあい笑いがはじけます。老夫婦、仲良く毎週やって来て買い物とおしゃべりを楽しんで、また、訪れるお客さん一人一人への明るい声掛けは朝の市場に活気をもたらしています。

よく「生産者の顔が見える関係」とか「地産地消」と言われますが、ここではまさにそれが実践されていると感じました。自分たちが作った野菜を自信を持って出荷し、お客さんとの触れ合いの中で、明るく元気に活動できる場として「青空市」は地域活性化の役割も担っているように思います。

第15回 松橋町特産品フェア

主催：松橋町特産品グループ

新鮮野菜・花・伝統工芸品・加工品など松橋町の特産品が大集合！



◆ 3月17日(土) 9:00~16:00
ウイングまつばせ
※熊日地域交流イベント「こんにちは熊日です」とのタイアップで実施

【目玉企画】包丁とぎ (有料)
◆ 3月18日(日) 9:00~15:00
松橋保健福祉センター駐車場
【目玉企画】い草製品(座席クッション)の無料配布(先着100人)、包丁とぎ(有料) ちょんかけこま教室、竹とんぼ教室
問 松橋市民センター産業課 ☎32-1111